



2/3日 午前9時 午後6時 「FMあすも専用ラジオ」の自動起動試験を行います

(((専用ラジオの使い方)))

専用ラジオ前面のダイヤルを右に回すと放送が聞こえます。普段は、ちょうどいい音量で聞いてください。この状態で起動信号を受信すると、音量が最大になります。解除信号を受信すると、音量は元に戻ります。

ダイヤルを左にカチッと音がするまで回すと音声は聞こえません。普段、ラジオを聞いていないときはこの状態です。この状態で起動信号を受信すると、専用ラジオの電源が自動で入ります。



市が事業所を含む全ての世帯に配布した「FMあすも専用ラジオ」は、緊急情報を伝えるための信号を受信すると電源が入っていない状態でも自動で放送が流れる機能を備えています。

市は、この自動起動機能が正しく作動するかどうかを確認するため、2月3日①の午前9時と午後6時の2回、市内全域を対象に「自動起動試験」を行います。市内全域を対象にした試験は初めてです。

当日は、専用ラジオを箱から出して、家庭用電源をコンセントにつないでください。自動起動信号を発信しますので、①

する②試験放送が聞こえるかを皆さんの家庭や事業所で確認してください。

◇日時：2月3日
①午前9時と午後6時◇対象：市内全域◇内容：市役所と消防本部に設置してある自動起動装置から自動起動信号を発信。市内全域一斉に続いて「関」花泉「大東」千厩「東山」室根「川崎」藤沢の順で地域ごとに発信

●本庁市政情報課 ☎2111、大8633、花泉支所地域振興課 ☎2211、大東支所地域振興課 ☎2111、川崎支所地域振興課 ☎2111、藤沢支所地域振興課 ☎2111

2111、千厩支所地域振興課 ☎2111、東山支所地域振興課 ☎2111、室根支所地域振興課 ☎2111、川崎支所地域振興課 ☎2111、藤沢支所地域振興課 ☎2111



パーソナリティーの塩竈一常さん②から取材を受ける中里中の佐々木優君(2年)④と小野寺千治君(3年)⑥

2

コンセプトは市民参加 「関の「今」を電波に乗せて

多くの市民が参加するFMあすもは、旬の情報や身近な話題が盛りだくさん。緊急時や災害時にも頼れる強い味方です。

日常はたっぷり

FMあすもの番組制作コンセプトは「市民参加」。地域に根ざした自社制作番組や市民が参加できる番組を数多く放送しています。

月から金曜の朝7時から放送(再放送は午後2時から)される市政情報番組「DAILY STYLE」。金曜日の「学校通信」は児童・生徒や教職員が出演する人気のコーナーです。1月11日に放送された中里中学校(高橋雅弘校長、生徒80人)の収録は昨年12月27日に行われ、パーソナリティーの塩竈一常さんが

同校を訪問し、取材しました。

佐々木優君(2年)は「あすもはみんなが聞いています。マイクを向けられ、緊張しました」と照れ笑い。小野寺千治君(3年)は「中里中の魅力が市内の人たちに伝えることができうれしいです」と誇らしげでした。

「学校通信」に見られるように、あすもの魅力は、地元で特化した情報をタイムリーに提供できることです。あすものスタッフは、毎日、市内各地を回って、旬の情報や身近な話題を取材。鮮度の高いニュースやお知らせを発信しています。

多くの市民が参加して、たっぷり地域を発信するあすも。リスナーはどんどん増えています。

災害時もしっかり

家庭用電源に接続されているか、電池が入っているか、FMあすも専用ラジオは、市が発信する自動起動信号を受信するとスイッチが入っていないでも起動(自動起動)する機能を備えています。

自動起動放送は、市民の生命や身体に重大な影響を及ぼす恐れがあると市が判断した場合に行います。例えば、河川の氾濫、堤防の決壊、土砂災害、大規模な火災、広範囲に及ぶガス漏れ事故などで、緊急に避難指示を発したり、知らせたりする場合です。

日常の▼地震・火災の発生▼緊急車両の出勤▼気象警報▼クマなどの出没▼停電や断水▼市道や国道の通行止め▼災害対策(警戒)本部の設置・解除などは、通常の番組内で放送を一時中断してお伝えしています。

聞いてます。応援してます。今日も、明日も、FMあすも

- 千田康子さん
ちだ・やすこ
山目
- 須藤周太郎君
すとう・しゅうたろう
花泉町浦津
- 熊谷博伸さん
くまがい・ひろのぶ
大東町摺沢
- 佐藤知美さん
さとう・ともみ
東山町長坂
- 小野栄子さん
おの・えいこ
川崎町薄衣
- 小山裕子さん
おやま・ゆうこ
千厩町小梨
- 菅原幸宏さん
すがわら・ゆきひろ
室根町矢越
- 高橋賢志さん
たかはし・さとし
藤沢町大籠

FMあすもは、幅広い年代が楽しめるラジオです。地域の情報をすぐ放送してくれるから安心感があります。知っている人が出演するから親近感が湧きます。誰が聞いてもほっとする、親しみやすいラジオだから応援したくなります。

地震が起きるとお母さんに「ラジオをつけて」といわれるので、僕がスイッチを入れます。少しすると「地震がありました」と放送が始まります。東日本大震災の時は、電気もテレビもつかなかったのが、家族みんながラジオを聞いていました。

各地のコミュニティ放送を聞いて「地域のラジオがあったらいいな」と誕生を待ち望んでいました。各種健診の日程、ごみの収集日、市の情報や防災情報などを提供するFMあすもは、地域に欠かせない貴重な情報源です。

友人がFMあすもの番組に出演したことがきっかけで聞く時間が増えました。災害情報などを素早く伝えてくれる地域のラジオがあることは心強いです。母親向けに子供を対象にしたイベントの紹介を増やしてくれるとうれしいです。

各地区の行事、慶弔など身近な情報が聞けるから便利です。知っている人が出演したり、近所が紹介されたり、地域のつながりを実感できるラジオ。菅原万理恵さんや千葉局長が頑張っているのがうれしいです。みんなに聞いてもらいたいです。

これまで、移動中の車内で聞いていましたが、千厩中継局が整備されたおかげで、昨年12月から自宅でもFMあすもを聞けるようになりました。防災情報も入るから安心です。地域の情報が盛りだくさんのFMあすもは地域のカンフル剤です。

FMあすもは、同じ町内の河合純子さんがパーソナリティを務めているからとても身近に感じます。以前、大きな地震があった時、詳細な情報をたくさん提供してくれました。身近な情報だけでなく、緊急情報なども提供してくれて、頼りになります。

仕事の移動時によく聞いています。自宅内の受信感度が良くないので、3月中に中継局が整備されるのを楽しみに待っています。FMあすもは地域のラジオ。あすもが盛り上がり、市全体が盛り上がり、これからも応援し続けます。